

東京都 スポーツ推進委員だより

第103号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2014年 9月 1日

編集：情報委員会

会長会



東京都スポーツ推進委員協議会 会長会

平成26年度東京都スポーツ推進委員協議会会長会が6月22日(日)午後2時より中野区産業振興センター(旧:勤労福祉会館)において開催されました。

定刻になり、阿部会長から『2020年に東京でオリンピック・パラリンピック開催が決定し、成人の週1回以上のスポーツ実施率70%の達成をめざす。スポーツ立国戦略の基本的考え方のもと、5つの重要戦略があります。特にライフステージに応じたスポーツ機会の創造と社会全体でスポーツを支える基盤の整備は、スポーツ推進委員の最優先事項と考えたうえスポーツ都市東京の実現を目指す』との挨拶がありました。

ご来賓の東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課長関口尚志氏から、『東京オリンピック・パラリンピックが決定し、(いつでも、どこでも、いつまでも)スポーツ実施率70%の達成をめざす。特に『20歳代~40歳代に向けた地域スポーツの新しい施策を打ち出す事が必要』・『トップアスリートとの関わりを持ったスポーツ事業を作り出す事も重要』とのご挨拶をいただきました。



第1部では『生涯スポーツのコーディネーターとして』~スポーツ推進委員と体育協会及び障害者スポーツ指導員協議会との連携・協働の具体的な取り組み~と題し、講師に、公益財団法人東京都体育協会理事長であり公益社団法人東京都障害者スポー

ツ協会会長である中野英則氏からコーディネーターとしての役割として

- ・生涯スポーツに対して主体的に連絡調整役
- ・人的・物的資源の活用
- ・スポーツ科学技術の知見
- ・マネージメント機能の重要性
- ・状況判断を下す役割

等々実例を上げて紹介いただきました。

特に、障害者スポーツに関しては指導経験者を迎えて動き出して欲しい。出来ればスタッフとして、障害者スポーツ指導員、障害者施設の関係者及び保護者のアドバイスや協力を頂きながら進めて行きたい。コーディネーターとしての役割すべてを活用して形にしていかなければならないとお話がありました。

第2部では

講演に関する質疑応答及び意見交換が行われました。障害者スポーツに関する事、及び総合型地域スポーツクラブに関する質問があり、中野講師及び事例に経験の有る阿部会長からのアドバイスを頂き、とても盛り上がった意見交換が行われました。

会議は午後4時45分に閉会となりましたが、講演会、意見交換会共に大変有意義な会長会でした。

その後、場所を移し情報交換会が行われ、各地区会長との交流、色々な情報もお聞きする事が出来、良い経験を得られ楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後に会長会、情報交換会を準備して頂きました企画総務委員会の皆様に御礼申し上げます。

台東区 スポーツ推進委員協議会
会長 久郷 真義



会長会の様子

研修会



平成26年度 第1回東京都生涯スポーツ担当者研修会

6月28日(土)東京体育館第一会議室にて平成26年度第1回東京都生涯スポーツ研修会が行われました。研修テーマは『運動好きな子どもをつくる～保護者へのアプローチと環境づくり～』講師は東京学芸大学名誉教授 杉原隆先生で、当日は早朝から大雨にも関わらず140名余の方々に参加されました。



杉原 隆 先生

主催の東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課係長石崎万理氏の司会により、調整課長関口尚志氏の挨拶及び

講師の紹介があり講演会が始まりました。杉原先生は子どもの運動能力について長年研究をされており、研究データをもとに興味深い話をしてくださいました。

幼児期は特定のスポーツ指導をするよりも、子どもの自発的な遊びを多く取入れたほうが運動能力が高くなるとの結果が得られたということです。

日頃、子どもたちのスポーツ指導に係わる多くのスポーツ推進委員や指導者の方々には驚きの結果だったのではないのでしょうか。

杉原先生はスポーツ指導自体が必要ないということではなく、指導の進め方や運動する環境、遊びとのバランスが大切であるとおっしゃっていました。幼児期の遊びを通しての多岐にわたる動きが既に運動となり自発的に行われる遊びそのものが運動になっているのだというお話と受け取りました。

幼児期は、運動の楽しさを知ってもらう時期であり、何か一つの運動を繰り返し上達させる時期ではないともおっしゃっていました。親御さんたち



には幼児期の身体を使った遊びの大切さを知ってもらうとともに、スポーツ推進委員としては指導という言葉に捉われず、子どもたちに身体を動かす楽しさを知ってもらいたいと思いました。

(記事：情報委員会 松田文子 豊島区)

(写真：情報委員会 才郷正次 東大和市)

研修会



平成26年度 新体力テスト判定員取得研修会

平成26年6月28日(土)9時～19時、昭島市総合スポーツセンターにおいて開催しました。講師に(公財)日本体育協会公認体力テスト指導員の百丈朗(ももたけあきら)氏を迎え、東京都スポーツ推進委員および行政担当者53名が参加しました。



この講習会は2年に1回、スポーツ推進委員の改選期に開催し、地域でのスポーツ

振興、健康・体力づくりに役立てる方法など、幅広い観点で捉えると共にスポーツ推進委員の資質向上を図ることを目的としています。

9時からの受付・開講式に始まり、午前中はテキス

トに沿った講義でした。昼食・休憩を挟み、午後は実技講習を受けてもらいました。

実技終了後、判定員取得試験を実施し、試験終了後に閉校式とともに登録申請手続きを行い解散しました。

朝から雨という天気でしたが、1名の欠席の他は全員そろい、熱心に受講されていました。また、実技ではそれぞれの種目の準備担当に各地区の受講者が分かれて当たるとともに、ポイントとなる点を確認しながら進めていく事ができました。



(記事：研修委員長 川口真也 調布市)

研修会



ニュースポーツ研修会

7月26日(土) 11:30~14:45 調布市民大町スポーツ施設(体育館)において、猛暑の中、21地区79名の参加者により、日本吹矢レクリエーション協会の協力でニュースポーツ『レクリエーション吹矢』の実技研修会が実施されました。

『レクリエーション吹矢』を簡単に説明すると、息を吸い集中力を高めて的に向かって吹く、気楽に参加できる健康スポーツです。年齢、性別に関係なく、競技やゲームを楽しみながら、腹式呼吸の訓練、口腔ケア、腹筋の強化、集中力を養えるとのことで、20本の矢を吹くだけで30~40分のウォーキングと同じ効果を得られるそうです。



床からの中心までの高さは160cm、的までの距離は7m(競技吹矢は

10m以上)と比較的狭い場所で競技が可能で、筒の長さは2種類(100cm、80cm)で軽く、矢は約120mm×3mmの安全に使用できる3タイプ(ネイル、吸盤、マグネット)、的は280×280×50mmで3種(競技用、レクリエーション用、ビンゴ用)の

バリエーションがあります。

研修会は『レクリエーション吹矢』の成立ちから始まり、吹き方・ルール、模範演技、実技指導、体験練習と進み、最後に技術指導の方々と参加者の代表によるビンゴ吹矢で盛り上がり、約3時間の研修会を終了しました。

既に導入されている地区の方も参加されていて、「屋内等での開催大会に『レクリエーション吹矢』も抱合せて普及活動を実施して『レクリエーション吹矢』に子ども達が熱中し、託児所ではありませんが、大会が安全にスムーズに出来るようになりました。」と効果を得られた感想を伺いました。

最後に、暑い中、日本吹矢レクリエーション協会のご指導の皆様、都スポ協・企画総務委員会の皆様、また、道案内で道路に立ってくださった調布市スポーツ推進委員会の皆様、お疲れ様でした感謝いたします。



(記事・写真 情報委員会 鈴木与一 府中市)

各地区の情報



情報ひろば

杉並区

杉並区スポーツ推進委員は、「スポーツによる地域づくり」を目的に活動しています。

今年度は、全区的活動として、①区民歩こう会 ②ファミリー駅伝 ③キンボール交流大会 ④綱引き大会 ⑤子ども体力アップ・親子でチャレンジを計画しています。

さらに、区民がふらっと立ち寄れるスポーツ拠点づくりを目指した「地域拠点活動」を展開中です。

杉並区をいくつかの区域に分け、スポーツ推進委員が区民ひとり一人に直接働きかけて、スポーツの楽しさ、運動の大切さを広げてゆきたいと考えています。

杉並区スポーツ推進委員を見かけたら、気軽に声を掛けてくださるようお願いいたします。

<杉並区スポーツ推進委員 三上克彦>



日の出町

今年度は、「ドッチビー教室」や地域の自然を生かした「ナイトハイク」、「ふらばーるバレーボール教室」、「スケート教室」、「スキー教室」、「スクエアステップ講習会」を計画しました。

私たちは、スポーツを通して人と人を結び付け、町民の皆様が生き生きと過ごすことができるよう、事業を行っています。

いくつかの事業を行っていく中で、気付いたこと。それは……。スポーツをする人々が、老若男女問わず、自然と笑顔になっているということです。互いに声をかけ合って、汗を流しているということです。人と人がかかわり合い、互いを認め合うことのできるスポーツの魅力を改めて確認することができました。

地域の更なる活性化や振興につなげていけるよう、今後もいろいろな機会を通じて、情報の発信や積極的な活動を行っていききたいと思います。

<日の出町スポーツ推進委員 米山潤>



文京区

文京区スポーツ推進委員会では、2年任期初頭に新任宿泊研修を実施しています。研修の意義や内容あるいは宿泊の必要性など、さまざまな議論を踏まえながら毎回内容を検討しています。一泊二日の行程をともに過ごす事の意義はやはり大きいものがあるようです。今期は八ヶ岳高原学園に宿泊し、初日＝散策・ドッチビー研修・定例会・講義・懇親会を経て、二日目＝飯盛山標高1,643m 登山ハイキングのメニューでした。全体進行スケジュールや飯盛山周辺状況、登山ハイキングルート、雨天時の別メニュー検討

など、各種の調査のために事前現地実踏調査を行ったのですが、地図や資料では知り得ない情報を得ることが出来、実踏の重要性を再確認しました。



登山口から山頂までおよそ1時間、道中左右に視界が開けたり、時折目に触れる植物や景色に癒やされながら到着、360°の眺望は素晴らしいです。皆さんにもお勧めします。

＜文京区スポーツ推進委員会 副会長 仲田和人＞

西東京市

西東京市では男性10名、女性10名の20名のスポーツ推進委員で活動しています。

今年度の事業は、3回のウォーキング・体力テスト・ソフトバレーボール大会・小学生ドッジボール大会は年2回、毎月最終日曜日に「ENJOYニュースポーツ2014」を開催しています。そして、今年度策定された「西東京市スポーツ振興計画」を踏まえ、新たに小学生を中心とした事業の取り組みを始めました。子どもの体力向上、スポーツへの興味、関心を持つきっかけになればと、担当者は市の教育指導課・スポーツ振興課を交え、話し合いからスタートしたところです。難題の多い事業だけに担当者は、悪戦苦闘。年内スタートを目指して頑張っています。



また、西東京市には東西の2か所に「総合型地域スポーツクラブ」があります。それぞれのクラブに設立準備から関わりをもち、現在においてもスポーツクラブを盛り上げていくために努力しています。

＜西東京市スポーツ推進委員 穴倉祐子＞

編集後記

今年度から情報委員会に配属となり、初めての編集作業をさせていただきました。多くの委員さんのご協力により無事発行でき安堵しています。自身が出席できなかった研修も都スポ協だよりの記事を読んでいくうちに、何故だか参加したような気になってしまいました。多くの方々のご協力により成り立つ会議や研修、できるだけ時間を作って参加したいものです。今後ともよろしく願いいたします。 (情報委員会 松田 文子 豊島区)

#####